茶話(和　輪)会だより

第１２号
見附市社会教育
スポーツ推進審議会
文責：味方

今町フェスタでの交流

顔を見て声を聞いてうまれる交流

９月１３日に今町公民館・体育館で今町フェスタが開催されました。審議会からも山岸委員を講師としてボッチャ体験コーナーを企画し参加させていただきました。

とてもよいお天気にめぐまれた当日は４６名の方が参加してくださいました。昨年も参加しました！という親子連れや卓球バレーの試合の合間に参加してくださった方など、盛況ぶりでした。

試合を楽しむ笑顔や、「あそこを狙って投げると勝てるかも？」と戦略を練る真剣な表情、「いやあ楽しかった、つい夢中になった」という嬉しい声など、実際に地域の方とふれあうことで生まれる交流は暖かくてよいですね。

卓球バレーのスタッフとして参加していた委員もおり、委員個々の活動も見えた今町フェスタでした。



あなたに会い隊

見附市社会教育・スポーツ推進委員



茶話(和・輪)会では、ギャラリーみつけで９月２３日まで開催の上原木呂展の話題になりました。審議会でも話題に上がったことから委員の間でも関心が高い展示会です。子どもから大人まで楽しめたこと、小さな子どもが想像以上にはまってリピーターになりそうだと楽しい反応を知ることができました。見附市民族文化資料館では来年３月末まで合同企画展を開催中ですので、こちらにもぜひ足をお運びください。上原木呂ファン、妖怪にはまる人、ギャラリーみつけや資料館を訪ねる市民がますます増えますように。

声を届けること

７月に参加した見附市主催のタウンミーティングを経て、社会教育委員と市長とのふれあい懇談会が開催される運びとなりました。公共施設の最適化という、委員の活動の基盤と言ってもよい公共施設が対象となっていることから、社会教育委員としての声をひとりひとりがしっかり発言したいと思います。変化や実現を期待するというより、現場の声を届ける機会として１０名以上の委員が参加予定です。

茶話(和・輪)会についても、まだまだ試行錯誤が続きます。平日の日中では参加できる委員が限られるため、曜日や時間を試験的に変更する試みを次回開催の茶話(和・輪)会から始めます。

任意の集まりではありますが、できるならば多くの委員と顔を合わせてお話しできる場にしたい。

その中からうまれる意見や感想を事務局に届けることが風通しの良い審議会の運営ができると思います。

ただ集まりましょう、だけではなく「次回はこんなことを話題にしませんか？」と事前にお伝えすることも考えてみたいと思っています。

社会教育委員からどんな声が届けられるでしょうか。

皆さんとつながり

わくわく体験 Lab

◇部活動の地域展開「エンジョイ型」事業としてわくわく体験 Lab が市内中学校で開催されています。

１２月７日は今町中学校です。味方委員が講師となり箏(こと)で『千本桜』を弾こう、という内容で参加します。

１２月２１日は見附中学校です。山岸委員を講師としてボッチャ体験で参加します。

こうした放課後の体験から「やってみたいこと」「居たい場所」を生徒が見つけることに繋がるとよいと思います。